

## 第 49 回 日本 P T A 関東ブロック研究大会 群馬大会 参加報告書

富士市 P T A 連絡協議会

副会長 上野英樹

第 49 回日本 P T A 関東ブロック研究大会群馬大会に参加いたしました。

大会スローガンは、『伝統 自尊感情 自立した大人への架け橋 ～絹の国から未来を自分らしく生き抜く子供たちを育てるために～』掲げ様々な分科会、そして全大会がおこなわれました。

1 日目は第 4 分科会、家庭教育『親と子の笑顔のコミュニケーション』に参加してきました。新潟県、山梨県の学校の P T A の取組についての事例発表があり、『おもしろ子育てコーチング』を演題として基調講演が行われました。

コーチングってあまり聞きなれない言葉でしたのでなんだろうと思いました。

コミュニケーション（問いかける・認める・聞く）を通して、相手の考えや自発的行動を引き出し、本人の能力発揮が上手くいくよう導く手法とのことでした。

ただ話を聞くだけではなくペアになって実践しながら進める講演であつとゆうまに時間がすぎました。

プラス思考で子供と接することにより前に進ませるといったような話でした。

この講演を聞いて以前幼稚園の挨拶で保護者に自分自身が言ったことを思い出しました。

褒めて伸ばす、子供が小さいころは些細なことが出来ただけでも褒めました。成長してくるにつれ『なんでできないの？』と小言が増えました。

頭ではわかっているけど実践できていない、そんな自分自身にふりかえることができた分科会でした。

二日目の全体会では東京農業大学第二高等学校のマーチングバンドのアトラクションが行われミュージカルの要素を取り入れたような演奏と踊りがとても素晴らしかったです。

また記念講演では阿部祐二氏の取材経験から感じたいじめ問題、教育問題の様々な話が聞け、また普段耳にはいない裏側の話も聞いて貴重な経験ができました。

この二日間を通じてまだまだ勉強不足な自分自身、今までの子育てを振り返り取り組むことがたくさんあることを感じる事が出来ました。